学校番号	１０１０

令和５年　福祉科

教科	福祉	科目	こころとからだの理解	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「こころとからだの理解」（実教出版）						
副教材等	なし						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇介護や社会福祉の支援場面で必要な知識となるこころやからだのしくみについて、みなさんと一緒に想像して、気づいて、考えていきましょう。
・普段の何気ないからだの動作や活動、こころの移り変わりなどに目を向けて、興味や関心の幅を広げましょう。
・卒業後、福祉・介護・医療・保育分野に進みたい人にとって、必要となる基礎的なこころとからだのしくみについて学びながら「福祉マインド」を育みます。
・夏季休業期間中等を活用して、自分の興味や関心のある福祉分野（児童・障がい者・高齢者など）でのボランティアに参加することをすすめます。

2 学習の到達目標

自立を尊重した生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を習得し、介護実践やその他の活動に、適切に活用できる能力を身につける。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a.関心・意欲・態度	b.思考・判断・表現	c.技能	d.知識・理解
観点の趣旨	介護に従事する者として人間の心身に関心をもち、より安全で安楽な介護技術の提供を目指して意欲的に取り組んでいる。	より安全で安楽な介護技術の提供を目指して、人間の心身に対する思考を深め、尊厳ある接し方について多面的・多角的に考察している。	人間の心身の構造や機能を理解した上で、要介護者に対する安全、安楽な介護技術を身に付けている。	要介護者に対し安全、安楽な介護技術を提供するための、人間の心身の構造や機能に関する基礎的な知識を身に付けている。安全、安楽な介護技術を提供するためには、人間の心身の構造や機能を理解する必要があるということを理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述	ノートやワークシートの記述 定期考査等	ノートやワークシートの記述 定期考査等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査等
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	こころとからだの基礎的理解	・こころのしくみの理解 ・からだのしくみの理解	○	○	○	○	a： 人間の心身の構造や機能に関心を持ち、意欲的に学習に取り組み、介護に従事する者として必要な、人体を敬う態度を身に付けようとしている。 b： 自分の心身の構造や機能について振り返り、人体に対する尊厳について考察している。心身の構造や機能について理解することが、なぜ安全、安楽で、尊厳のある介護に繋がるのか、自分の言葉で表現できる。 c： 人間の心身の構造や機能を理解した上で、要介護者に対する安全、安楽な介護技術を身に付けている。 d： 要介護者に対し安全、安楽な介護技術を提供するための、人間の心身の構造や機能に関する基礎的な知識を身に付けている。	授業観察 ノート ワークシート 定期考査
1・2	生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解	・生活動作に関するこころとからだのしくみ ・生活に関するこころとからだの特徴	○	○	○	○	a： 人間の心身の構造や機能に関心を持ち、生活動作との関連について理解しようとしている。人間の様々な状況における心身の状態の変化に関心を持ち、理解しようとしている。 b： 自分自身の心身の構造や機能と、生活動作との関連について考察している。人間の様々な状況における心身の状態の変化について考察し、どのような支援が必要か、自分の言葉で表現できる。 c： 自分自身の心身の構造や機能と、生活動作を関連させた上で、要介護者に対する安全、安楽な介護技術を身に付けている。人間の様々な状況における心身の状態の変化を理解した上で、要介護者に必要な支援方法を身に付けている。 d： 要介護者に対し安全、安楽な介護技術を提供するための心身の構造や機能と、生活動作の関連性を理解している。人間の様々な状況における心身の状態の変化と、その際に必要な支援方法を理解している。	授業観察 ノート ワークシート 定期考査

2 ・ 3	人間の成長と発達の基礎的理解	・発達とは ・老年期の理解と日常生活 ・高齢者と健康	○ ○ ○	 ○	○	○	a： 人間の発達に関心を持ち、人間が発達を繰り返しながら生きているということを理解しようとしている。人間の老化に関心を持ち、加齢に伴う健康的な日常生活のあり方について理解しようとしている。 b： 人間が発達を繰り返しながら生きているということを踏まえ、人間がより安全で安楽な生活を送るための支援のあり方について考察している。人間は日々老化していると言うことを踏まえ、人間がより安全で安楽な生活を送るための支援のあり方について考察している。 c： 人間の発達の機序を理解した上で、要介護者に対する安全、安楽な介護技術を身に付けている。人間の老化を理解した上で、要介護者に必要な支援方法を身に付けている d： 人間の発達の機序と、発達に応じた支援方法を理解している。人間の老化と、老化に応じた支援方法を理解している。	授業観察 ノート ワークシート 発表 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。